

多奈川小島地区

(大阪府岬町)

- 計画期間 平成18年度～平成20年度
- 面積 18ha
- 交付対象事業費 207百万円
- 町人口 18,191人(地区内人口 216人)

ポイント

豊かな自然環境を活かした地域の活性化

地区概要

関西国際空港二期事業の土砂積出棧橋を、海釣り棧橋としての活用。府道沿いという立地条件も活かし、全国初の「道の駅を兼ねた海釣り公園」として整備。

目標

- ・目標1：磯遊び・魚釣り客を集客することで、地域の活性化を図る。
- ・目標2：豊かな自然環境に配慮した地域の基盤整備により、生活環境の向上を図る。

指標

- ・地域活性化指標としての訪問観光客数
- ・生活環境向上指標として住民満足度

小島地区を訪れる観光客(千人/年)	77 (H17) → 110 (H20、評価値)
小島地区住民の満足度(%)	15 (H17) → 48.7 (H20、評価値)

事業内容

基幹事業(182百万円) → 道路(延長43.5m)、地域生活基盤施設[海釣り棧橋広場・ふれあい広場](面積6,760㎡)、高次都市施設[観光交流センター](面積218㎡)

提案事業(25百万円) → 海釣り施設整備(延長220m)、道の駅情報発信コーナー整備、まちづくりイベント等の開催



地区の現況と課題

当地区は古くからの天然の港を有した集落であり、海上守護神の神である小島住吉神社が深く信仰されている。遊漁船が多数在籍し、週末には海釣り客で賑わう一方で、高齢化の進行が著しい。このような状況の中、関西国際空港二期事業の土砂積出棧橋を海釣り棧橋として再利用し、地域振興に供するよう、地元住民から要望が持ち上がっていた。

提案事業の特徴

海釣り施設の整備

景観に配慮したカラー舗装、水産生物増殖のための魚礁設置、利用客保安のための救助艇の設置。



海釣り施設の整備

道の駅情報発信コーナーの整備

利用客の利便を図るため、観光交流センター内に、道路情報を発信するための端末を整備。



道の駅情報発信コーナーの整備

まちづくりイベント等の開催

海釣り公園の開園に併せ、記念式典を開催

まちづくりの効果、持続的取り組み

- ・大物がよく釣れると評判になり、開園2年を待たずに、来園者が10万人を超えるなど、地域の活性化に大きく寄与した。
- ・専門誌などの各種マスメディアへ紹介されることで、新たな来訪者を呼び込むという好循環が生じた。更に「道の駅」指定されたことで、道の駅愛好家が多く来訪するなどの効果があった。
- ・海釣り公園の魅力維持のため、定期的な海底清掃を行うほか、釣り人や観光客と共に稚魚の放流を行っている。また、小学校の遠足の受け入れや釣り大会などの各種イベントを積極的に実施している。



岬町 田代町長のコメント

当地区は、大阪府内唯一の自然海岸が残る恵まれた自然環境を有する地域で、大阪都市部から釣りや磯遊びに訪れる方が数多く来町される一方、当地区の基幹産業である水産業は、水産資源の減少、価格の低迷、担い手減少等の課題を抱えておりました。このような中、地域活性化を図るため土砂積出棧橋を海釣り公園として有効活用する旨の地元要望があり、まちづくり交付金を活用し、海釣り公園の整備を行いました。施設整備後は、釣りや大阪湾を一望できる景観を楽しむレジャー客が多数訪れるようになるとともに、地元雇用にも繋がるなど、本町にとって不可欠の観光施設となっております。この度の受賞を契機に、引き続き施設の充実に努めて参ります。



岬町海釣り公園「とっとパーク小島」のHP

岬町小島自治区 山原区長のコメント

当地区沿岸は、紀淡海峡の潮が流れる魚の豊富な場所であることから、土砂積出棧橋を有効活用した海釣り公園整備の要望を行って参りました。まちづくり交付金の活用決定後は、施設の計画段階から開園に至るまでの間、地元自治区長として、検討委員会等に参加し、地元の声を行政に届ける役割を担わせて頂きました。海釣り公園の整備後は、多くのリピータが訪れるなど、地区のにぎわいが戻り、地元代表といたしまして非常に喜んでおります。自治会活動の一環として、施設付近での秋祭り開催や海岸清掃ボランティアなど、積極的に施設の魅力向上に取り組んでおります。今後も自治会活動を通じ、地域の活性化に貢献していきたいと思っております。



交流センター内の物販コーナー。地場産品が並び、奥の液晶テレビは、道路情報端末。